

2024-25  
第 37 回例会  
2025.6.11

国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区

# 福島南ロータリークラブ会報



会員 75 名中 26 名出席 34.67% 修正 47 名 62.67% メイクアップ 21 名

例会会場/株式会社山水荘 TEL 024-595-2141 水曜日 18:30

## ◆会長あいさつ 赤間浩一会長

皆様改めましてこんばんは。まず初めに皆様に重要なお知らせがございます。

6月10日（火）午前6時33分、今年度RI会長のステファニー・A・アーチック様の名前でメールが届きました。

その内容は、2025-26年度RI会長に選出されていたマリオ・デ・カマルゴ会長エレクトが、個人的およびビジネス面での懸念により、会長職を辞任するとの通知でした。

突然の知らせに驚かれた方も多いと思います。

これを受けて、国際ロータリー理事会は新たな次期会長選出に向けて会合を開き、手続きを進める予定とのことです。なお、カマルゴ氏はロータリークラブ自体は退会しないとのことです。個人的には非常に難しい状況だと感じております。今後の正式な発表を待ちたいと思います。

さて、6月は「ロータリー親睦活動月間」です。この月間は、ロータリアン同士が共通の関心や職業、趣味、レクリエーションを通して交流を深め、友情を育むことを目的としています。

前回の「ロータリーの友」の時間でもご紹介がありましたが、最初の親睦活動グループは、エスペラント語に関心を持つロータリアンによって設立されました。

その後、ボート愛好家などによる活動が加わり、現在では100を超える親睦グループがあるそうです。

福島南ロータリークラブにおいても、グループという形ではありませんが、「親睦」の理念に基づいた活発な活動が行われております。ここで、近況をご紹介させていただきます。

まず、5月23日（金）にはセブロータリークラブから6名の皆さんが来福され、夕食会から親睦がスタートしました。土曜日には歓迎交流会を開催し、多くの会員の皆様にご参加いただきました。

御田会長が印象的なことを話されておりました。これまでの交流会では、セブの方々は一つのテーブルに固まって座り、ご自身が通訳を務めながら食事をされていたそうです。

しかし今回は、セブの方々が各テーブルに分かれて座り、それぞれの場所から笑い声が聞こえてきたと。「こんな雰囲気は初めてだった」とおっしゃっていました。

続く5月28日には、福島中央ロータリークラブとの合同例会がありました。

6月1日にお会いした福島中央の佐藤会長からは、「話が弾んでとても良い例会だった」と喜びの声をいただきました。

6月2日には、「ロータリーを知る会」を開催し、入会候補者5名と“付き添い”の1名を含む6名と親睦を深めました。

後ほど臨時協議会でもご紹介しますが、3名の推薦書が提出されており、次年度の第1回例会での入会が予定されています。6月4日には、新旧合同理事会が開催されました。次年度に向けたク





ラブ内のバトンタッチとして、和やかな雰囲気の中で親睦が深まりました。

次年度も、菊地会長のもとで笑顔あふれる一年になると確信しています。

6月6日には、「新会員とカウンセラーの集い」が行われました。

これは今年度4回目の開催で、新会員にとって安心できる居場所づくりが目的です。昨年度は13名の新会員が入会されましたが、現在まで退会者が一人も出ていないことが、この取り組みの成果を物語っていると思います。

6月7日には、楽生会主催の安達太良山ハイキングが行われ、参加者の皆さんがとても楽しんでいた様子がラインで共有されていました。クラブ内の絆がまた一つ深まったことと思います。そして本日、新旧委員会の歓送迎会が開催されました。夜間例会の参加者が少ないのは残念ですが、人数が少ないからこそ、より親密な交流ができることもあると思います。

セブロータリークラブの御田会長からいただいたラム酒も持ってまいりましたので、今夜はぜひ皆さんで楽しんでいただければと思います。

このように、6月の親睦活動月間にふさわしい活発な交流が続いています。この勢いをそのまま次年度へとつなげていけるよう、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。本日は以上で挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

#### ◆山水荘会長挨拶

#### ◆乾杯挨拶

#### ◆財団表彰



林克重会員  
マルチプルポール  
ハリスフェロー-7

本田光男会員  
マルチプルポール  
ハリスフェロー-3

#### ◆新旧委員会歓送迎会

